

第16版

令和7年度(2025年)

(令和6年10月1日 ~ 令和7年9月30日)

エコアクション21

【環境経営活動レポート】

環境にやさしい産廃処理場 『地球の笑顔が観たい』
水戸リサイクルセンター(中間処理施設)

人と自然が共生する豊かな自然環境を守る企業
へ



認証登録番号 07025

根崎解体工事株式会社

発行日 令和7年12月15日

I.

《 環 境 経 営 方 針 》

【基本理念】

『我社は、人と自然が共生する豊かな自然環境を守る為に、継続的な改善活動を通して環境負荷の低減を図る為に、全社で環境保全活動に取り組めます。』



【環境経営方針】

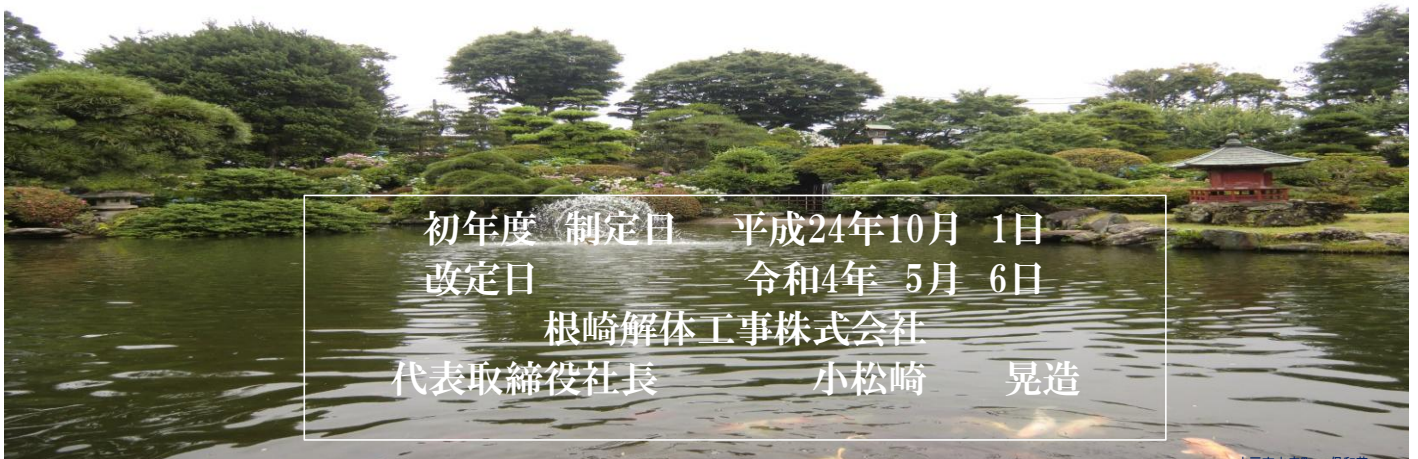
『事業活動において、環境保全の目標や活動計画を定め、会社全体で取り組み、事業の完工高を上げる。』

1) 解体工事(本社).中間処理施設(水戸リサイクルセンター)

- ①.大気汚染防止や温暖化防止策を行い、化石燃料の省エネに取り組む。
(リデュース)
- ②.社内における環境活動については、省エネルギーへの取り組みや分別・回収の徹底により資源の有効利用。
(リユース)
- ③.作業所、地域の環境保全活動にも積極的に参加する。
- ④. 廃棄物を資源として認識し、再生エネルギー化・原料化に努め、次世代に廃棄物を残さない様、最終埋立廃棄物を減らす。
※.対応策:RPFの製造、有価物(プラスチック、再生砕石、大谷石等の再生利用可能な物)促進をデータで提示する。
(リユース・リサイクル)
- ⑤.火災や粉塵の飛来など、防止・抑制し、近隣や社会に安全を提供できるよう努める。
※.対応策:消防設備の点検、年に1回の消化訓練、清掃作業の点検表の提示。
(安全.安心.予防処置:対策)

2) ①.法令を遵守し、清掃活動等を通して不法投棄などの不適切処理の根絶活動に努める。

※.対応策:契約書及びマニハスト管理の徹底、近隣清掃活動や資源循環協会での活動等を処理及び写真等で提示。



目 次

表 紙

I.環境経営方針	・【基本理念・基本方針】	…………	P-1
目 次		…………	P-2
II.組織の概要	・会社の概要・業務内容・事業規模 産業廃棄物中間処理フロー図 (水戸リサイクルセンター)	………… …………	P-3.4 P-5.6.7
III.実施体制図・各部門の役割		…………	P-8.9
IV-1.環境経営目標と環境活動計画の取り組み。(本社・水戸RC)		…………	P-10
IV-2.環境経営目標と環境活動計画の取り組み の結果と評価表(本社.水戸RC)		…………	P-11
V.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の 結果並びに違反、訴訟等の有無		…………	P-12
VI.代表者による全体の評価と見直し		…………	P-12.
《参考グラフ》 H29年度～R5年度の完工高 (事業規模実績をグラフ化)		…………	P-13

II.組織の概要

1) 事業者名及び代表者名

根崎解体工事 株式会社
 代表取締役会長 根崎 正行
 代表取締役社長 小松崎 晃造

2) 設立

昭和 51 年 6 月 29 日 設立 (1976年6月29日)

3) 資本金

¥ 2,000万円

4) 所在地

- ① 本社 [登録対象] 〒 311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ2087
 TEL 0299-26-1030
 FAX 0299-26-1070
 E-mai nez008@nifty.com
- ② 水戸支店 [登録対象] 〒 310-0026 茨城県水戸市泉町2丁目3番2号(中央ビル3F)
 TEL & FAX 029-232-8737
- ③ 水戸 RC (中間処理場) [登録対象] 〒311-4164 水戸市谷津町高取1182-1
 TEL 029-293-3500 FAX 029-293-3502
 「平成26年4月より第一期設備操業開始」 「平成28年4月より第二期設備操業開始」

5) 事業内容 (認証・登録の範囲)

建設許可番号	茨城県知事 特 — 02 第 10158 号
有効期間	令和 7年 4月 16日 ~ 令和12年 4月 15日 まで
建設業の種類	とび 土工・土木工事業・建築工事業・舗装工事業・水道施設工事業・解体工事業
産業廃棄物収集運搬	
許可番号	茨城県知事許可 801006771
許可年月日	令和 4年 6月 6日 ~令和 9年 3月18日
廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず、コンクリート及び陶器くず、がれき類(石綿含有産廃を含む)燃え殻・汚泥・廃油・廃酸・廃アルカリ以上14種類
特別管理産業廃棄物収集運搬	
許可番号	茨城県知事許可 851006771
許可年月日	令和 4年10月 4日~令和 9年 5月 7日
廃棄物の種類	廃石綿等
産業廃棄物 中間処理 (水戸リサイクルセンター)	
許可番号	水戸市長 高橋 靖 許可 13421006771
許可年月日	令和 6年 3月 18日 ~令和 11年 3月 19日
廃棄物の種類	ガラスくず・コンクリートくず及び陶器くず(石綿含有産廃を除く)、がれき類(石綿含有産廃を除く)以上7種類・金属くず・廃プラスチック類(石綿含有産廃を除く)紙くず、木くず、繊維くず・燃え殻・以上4種類
産業廃棄物収集運搬:(廃プラスチック類、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス等類、がれき類(石綿含有含む)、CO,AS塊、	
許可番号	栃木県知事許可 900006771
許可年月日	令和 5年 8月 3日 ~令和10年 8月 2日
許可番号	福島県知事許可 707006771
許可年月日	令和 7年4月1日 ~令和 12年2月2日
許可番号	埼玉県知事許可 1100006771
許可年月日	令和 7年 3月3日 ~令和 12年3月2日
許可番号	群馬県知事許可 1000006771
許可年月日	令和 7年 1月22日 ~令和 12年1月21日
許可番号	千葉県知事許可 1200006771
許可年月日	令和 7年3月27日 ~令和 12年2月6日
許可番号	東京都知事許可 13-00-006771
許可年月日	令和 7年2月14日 ~令和 12年2月13日
許可番号	神奈川県知事許可 1400006771
許可年月日	令和 7年4月9日 ~令和12年2月17日
EA 21	2011年 5月 承認登録証 07025
ISO 9001	2010年10月 承認登録証 01376 (JISQ9001.2015 :ISO9001.2015)

6) 事業の規模 ・当社の決算期:(前年度の10月1日～今年度9月30日まで)

1. 規模

		活動規模	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
本 社	完工高(税抜)	合計		1,646.00	1,720.30	1,815.50	1,651.00	1,740.00	1,792.30
		本社	百万円	1,225.0	1,263.1	1,346.7	1,239.9	1,322.0	1,446.20
		水戸		421.0	457.2	468.8	411.1	418.0	346.10
	2階 1階 別	産廃 運搬数量		32,968	28,061	29,594.6	26,631.7	31,153.5	20,016.850
		自社の排出数量	t	20,330	19,059.7	14,325.1	18,114.2	19,392.9	15,483.180
		委託収集運搬数量		12,638	9,001.8	15,269.5	8,517.5	11,760.6	4,533.670
		延べ床面積(本社)	m ²	(旧社屋)179.04	179.04	(新社屋)458.97	458.97	458.97	458.97
		1階倉庫	m ²	—	—	462.38	462.38	462.38	462.38
		資材倉庫②	m ²	200	200	179.04	179.04	179.04	179.04
		従業員	人	20	21	24	25	23	21
水戸 RC	水戸リサイクル敷地	m ²	21,412.0	21,412.0	21,412.0	21,412.0	21,412.0	21,412.0	
	工場施設面積	m ²	12,678	12,678	12,678	12,678	12,678	12,678	
	中間処理数量合計		45,251.3	33,136.3	41,528.8	36,667.1	30,236.9	34,081.8	
	自社車両収集運搬数量	t	—	8,048	7,338.8	5,858.6	6,833.3	5,920.050	
	受け入れ搬入数量		—	25,089	34,190.0	30,808.5	23,403.6	28,161.746	
	再生材(RC・RB40)	m ³	15,834.0	13,323.0	17,195.5	13,266.5	10,214.8	8,673.50	
	再生アスファルト材(80-0)	t	4,863.2	4,940.0	4,493.6	2,645.0	4,131.3	2,669.56	
	RPF材(再生燃料材)	t	生産休業中	生産休業中	生産休業中	生産休業中	490.55	1,002.78	
	従業員	人	25	26	24	24	26	28	

【重機及び車両保有台数】

【本社事業部】 (運搬車・営業車・送迎車・重機等)

機種名	台	機種名	台	機種名	台
4t ユニック車	1	フォークリフト	0	バックホウ(大型,小型)	7
4t アーム車	5	タイヤショベル(大型,小型)	0	バックホウ(マグネット付)	0
10t 大型車	1	油圧コンクリート破砕機(大割)	1	散水車4t	0
2t Lゲート	1	油圧鉄骨カッター	1	ミニバックホウ	1
営業車	5	連絡車・送迎車(Wキャブ,ワゴン車)	5	軽トラック	1

会社全体 総合計	
4t ユニック車	2
2t Lゲート	1
4t アーム車、	9
10t 大型車	4
営業車(自家用車)	8
連絡車・送迎Wキャブ車	5
軽トラック	2
タイヤショベル	3
フォークリフト	2
油圧コンクリート破砕機	2
油圧鉄骨カッター	1
バックホウ(大型,小型)	10
バックホウ(マグネット付)	1
ミニバックホウ	3
4t 散水車	0
スイパー(小型場内用)	1
小 計	54

【水戸RC事業部】 (運搬車・営業車・送迎車・重機等)

機種名	台	機種名	台	機種名	台
4t ユニック車	1	フォークリフト	2	バックホウ	3
4t アーム車、ダンプ	4	タイヤショベル(大型,小型)	3	バックホウ(マグネット付)	1
10t 大型車	3	油圧コンクリート破砕機(バックホウ)	1	4t 散水車	0
2t ダンプ車,アーム車	0	油圧鉄骨カッター	0	ミニバックホウ	2
営業車	3	送迎用(キャリー、ウイングロード)	2	軽トラック	1
				スイパー(小型)	1

- 内容:建築物・土木構造物・プラント等の総合解体工事、土木工事、産業廃棄物、特別管理産業廃棄物等の収集運搬。
 - 事業計画の概要(産業廃棄物等収集運搬)
 - 委託契約書による排出事業者が処分を委託した処分場まで manifests の内容を確認し、収集運搬を行う。
 - 解体工事現場から排出される産業廃棄物のリサイクル率の向上に努める。
 - 中間処理施設の概要
 - 委託された契約書による排出事業者が処分委託した廃棄物の manifests 内容を確認し、処分受託する。
 - 処分受託した廃棄物は、分別し破砕し再生材とし、公共工事や民間工事に販売する。
再生材(RB40-0・RC40-0・RB 0-10・RPF材・)
- 参考 : 再生砕石(RC40-0, RB40-0)は、2017年5月に操業開始。
参考 : RPF材生産は2017年8月に操業開始し 2018年10月に操業を休業。 2023年10月再稼働。
(再生可燃性材)

7). 水戸リサイクルセンター

- 太陽光発電施設を設置した(第1工場の屋上に設置)。
参考・自社工場(第1, 2工場)で発電電力を使用し、販売蓄電はしていない。

《産業廃棄物中間処理工程フロー図》

【許可年月日:H20年10月3日・設置年月日:H27年12月15日】

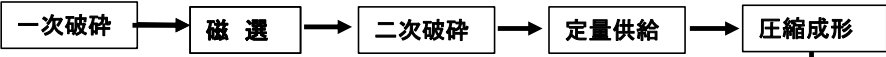
(産業廃棄物を新たな再生資源材、焼却燃料材とした有効活用させる。)

(第1工場)
廃プラ・木くず・石膏ボード
紙くず・がれき、混合物等類

※:人力分別作業

※:ガレキ、混合物類等は1度埋めてしまえば終わりだけど、分別方法次第では、再生材として新たな命を与える事ができる。

廃プラスチック・繊維くず・木くず・紙くず・ゴムくず等の混合物



※:処理能力 8t/日(8時間)

※:R6.1月より、分別処理後RPF材の稼働 生産開始する。

RPF材(燃料材)

冷却

脱臭



固形燃料(RPF材)

金属くず

破碎

切断

再生資源化

金属リサイクル業者

木くず

破碎

磁選

旋回スクリーン

家畜資機材

燃料・合板原料

※:破碎能力36.16t/日(8時間)

※:現在は、分別処理のみで生産は、休業中

(燃料材として最終処分業者に委託処理)



ミドルチップ

石膏ボード

リサイクル業者へ委託

(第2工場)
コンクリート塊・アスファルト塊

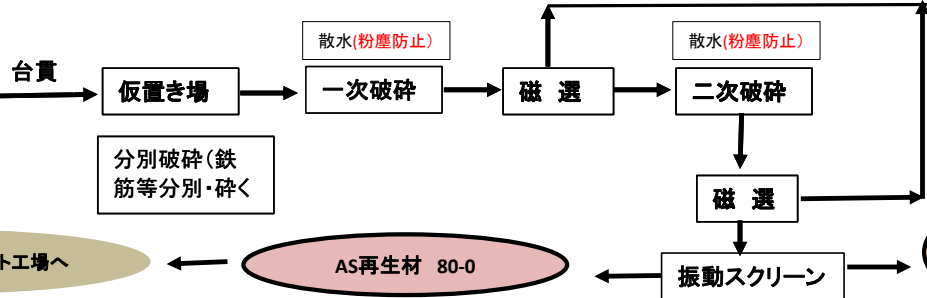
※:1日の処理能力 600t/日(8時間)

油圧式ショベルマグネット付1台、タイヤショベル2台

散水車1台、場内トラック10台、車1台、フォークリフト1台

※:工事現場(建築基礎材、道路アスファルト材、構造物二次製品等)産業廃棄物

*:顧客収集運搬車
*:自社収集運搬車



製鉄原料

散水(粉塵防止)

散水(粉塵防止)

分別破碎(鉄筋等分別・砕く)

近隣のアスファルトプラント工場へ

AS再生材 80-0

再生砕石 RC.RB:40-0



RAST材 .0-80ストックヤード



RC40-0.RB40-0 材.ストックヤード



RPF材ストックヤード

【RPFとは】 「廃プラスチック、古紙、木くず、などを主原料とした高カロリーの高熱燃料の事です。」
化石燃料に代わる熱エネルギーとして利用される。
※:燃料設備ボイラー用燃料及び発電設備などで使用されます。

※:茨城県土木部指定工場

※:水戸市役所及び民間業者へ販売する。

H2017. 7月

公共事業工事及び民間工事の建設業

【機械設備】
各機械設備は、建物内に設備しています。騒音・振動・粉塵の発生を最小限に抑制し、近隣対策を含め、皆様に喜ばれる設備となるよう努力しています。

【特徴】
安定した品質。密度が高い為、貯蔵特性に優れている。廃棄物処理コストの削減。資源の有効利用とCo2排出量の低減

※:産業廃棄物を分別すれば、再生資源材(命を吹き込む)として、公共工事、民間工事に用資材に使用できる貴重な資源である。その他の産業廃棄物は、最終処分場へと委託処理を行う。

【水戸リサイクルセンター情報公開】

高所建屋.コンビナート.解体工事.

鉄筋コンクリート建屋 4、5階建て解体工事

コンビナート工場 解体工事



水戸リサイクルセンター【中間処理場】

再生材料(RC40-0.RST80-0)・再生燃料材RPF固形燃料材ストックヤード



第2工場 コンクリート塊集積所及び小割状況



陶器類,大谷石等の分別後 仮集積所



第1工場 混合・がれき類の分別仕分け



廃石膏分別後の仮置き



繊維くず,畳,ゴム等の分別後集積



分別後集積袋にいれ 最終処理場へ運搬



茨城県 土木部検査課 茨城県技術管理試験センターによる工場立ち入り検査実施

再生材(RC.RB40-0) 年1回 の茨城県土木部検査課 立ち合い検査 (工場及び品質管理試験)

・資料採集後 ・ふるい分け試験

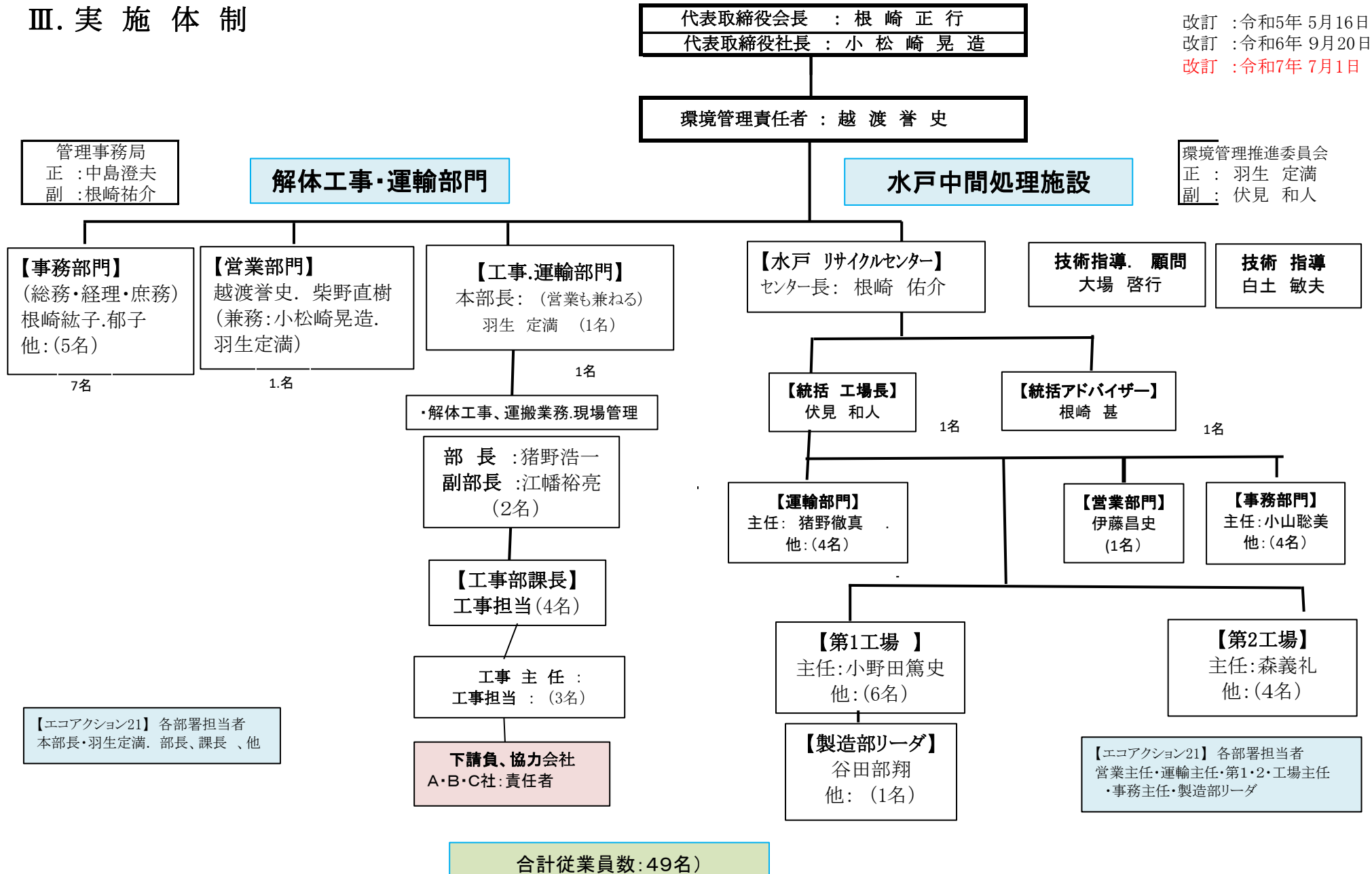
水戸RC : 県道沿い出入り口付近の草刈り清掃状況. 年4回実施





根崎解体工事株式会社

Ⅲ. 実施体制



改訂：令和5年 5月16日
 改訂：令和6年 9月20日
 改訂：令和7年 7月1日

本社従業員計：21名 (19名+2名)
 (パート及びアルバイト、4名で) = 2名。
 ※:パート及びアルバイト2名で1人と換算する。

水戸RC従業員計：28名 (26名+2名)
 (アルバイト及びパート 5名、) = 2.5名。

責任者 代表取締役 社長

役 割	
環境システムの最高責任者	
<ul style="list-style-type: none"> ・EA21の関するすべての権限を持つ。①環境経営に関する統括責任者。②環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する。 ③環境方針の策定。④環境責任者の任命。⑤環境目標及び環境活動計画、実施体制を承認する。 ⑥代表者による全体の評価と見直しを実施する。⑦環境経営レポートの承認。 	

環境管理責任者 越渡専務

環境システムの総責任者として、役割権限を他の責任者に関わらず持つ。	
<ul style="list-style-type: none"> ①環境システムの構築と維持、運用、管理に関する責任者。②環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する。 ③エコアクション21推進委員会の責任者。④環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認。 ⑤環境目標、環境活動計画、実施体制の確認。⑥環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認。 ⑦問題点の是正及び予防処置の承認。⑧環境レポートの確認。 	

EA21 推進委員会 (羽生・根崎祐介)

環境システムの運用実施機関	
<ul style="list-style-type: none"> ①環境目標、環境活動計画の伝達。 ②各部門の実施状況、目標達成状況、問題点等の報告 ③環境活動に関する意見交換。 	

環境事務局 (中島、根崎絃子)

環境システムにおける事務処理	
<ul style="list-style-type: none"> ①環境管理責任者の補佐役、エコアクション21推進委員会の事務局。②環境関連文書、記録の管理。 ③環境活動に関する実績のとりまとめ。④外部コミュニケーションに関する窓口。 ⑤活動活動レポートの作成。 	

各部門所属長 (各部門.課長、工場長、主任)

各部門での環境システムの運用実施責任者	
<ul style="list-style-type: none"> ①各部門での環境活動計画の企画。②各部門での環境活動の推進。 ③各部門での環境活動実績の評価、報告。④各部門に必要な手順書の作成、管理。 ⑤各部門での問題点の発見及び是正、予防処置を実施する。 ⑥各部門での問題点から、改善テーマを部門に与え推進し発表させる。 	

全従業員

<ul style="list-style-type: none"> ①環境方針と環境目標などの理解と自らの役割を自覚す。②改善テーマの検討、対策の立案、実行、発表に参加する。 ③自主的、積極的に環境活動に参加する。 	
--	--

IV-1.【環境目標、環境活動計画の取り組み。】

令和6年(2024年) から 令和10年(2028年)

(完工高百万円、原単位/バス)

環境方針	内 容	基準年度	中 期		長 期		環 境 活 動 計 画 取 り 組 み ・令和7年.令和8年.令和9年.令和10年	活動による メリット
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
		実績値 使用量原単位	1%削減 目標値	2%削減 目標値	3%削減 目標値	4%削減 目標値		
1.地球温暖化防止のために二酸化炭素排出量削減	【101】本社:電気使用量の削減(kwh) 〔基準年度からの削減率〕	35,439.0 26.81	35,084.6 26.54	34,730.2 26.27	34,375.8 26.01	34,021.4 25.74	【101・501】:①.冷暖房の控え目使用(暖房の室温26℃～28℃)(冷房は21℃～23℃)。②.休憩、昼休み時間の照明、エアコンはOF。③.LED電球使用、未使用機器の未接続を徹底する。④.オフィス機器を節電モードにする。⑤.水戸RCにおいては太陽光発電電力をふる活用する。	・省エネとコストの削減。 ・生産性の向上。
	【501】水戸RC:電気使用量の削減(kwh) 〔基準年度からの削減率〕	216,837.0 96.51	214,668.6 95.54	212,500.3 94.58	210,331.9 93.61	208,163.5 92.65		
	【101.501】LED電球の交換率%	70%	80%	90%	100%	100%		
	【102】本社:ガソリン使用量の削減(L) 〔基準年度からの削減率〕	11,216.2 8.84	11,104.0 8.75	10,991.9 8.66	10,879.7 8.57	10,543.2 8.49	【102・501】:①.エコドライブ運転の展開。②.ハイブリット車の購入。③.経済性を考慮した走行運転。④.運搬経路の計画、過積載の防止。	・CO2の削減とコスト削減。 ・作業効率の向上。 ・安全運行。健康管理。
	【502】水戸RC:ガソリン使用量の削減(L) 〔基準年度からの削減率〕	5,524.6 13.22	5,414.1 13.09	5,414.1 12.96	5,358.9 12.82	5,193.1 12.69		
	【102.502】ハイブリット車の購入率%	50%	70%	80%	90%	90%		
	【103】本社:軽油使用量の削減(L) 〔基準年度からの削減率〕	233,637.1 176.73	231,300.7 174.96	228,964.4 172.84	226,628.0 171.43	224,291.6 169.66	【103・503】:①.エコドライブ運転の展開。②.重機、車両のリースの際は省エネ使用車を選定する。③.コストを考慮した運搬経路の設定。④.使用しない時の重機、車両はエンジンをオフにする。⑤.急発進や制限内スピード走行の実施。	・CO2の削減とコスト削減。 ・作業効率の向上。 ・安全運行。健康管理。
	【503】水戸RC:軽油使用量の削減(L) 〔基準年度からの削減率〕	159,995.9 382.77	158,395.9 378.94	156,796.0 375.11	155,196.0 371.29	153,596.1 367.46		
	【104】本社:二酸化炭素排出量の削減kg-CO2 〔基準年度からの削減率〕	619,184.2 468.37	612,992.4 463.69	606,800.5 459.00	600,608.7 454.32	594,416.8 449.64		
	【504】水戸RC:二酸化炭素排出量の削減kg-CO2 〔基準年度からの削減率〕	520,057.4 1,244.16	468,051.7 1219.28	509,656.3 1219.28	504,455.7 1206.84	499,255.1 1194.39	【101～103】:①～③による。【501～503】:①～③による。	・CO2の排出量の削減。
2.廃棄物排出量の削減と資源の有効活用の推進	【201】本社:一般廃棄物排出量の削減(kg) 〔基準年度からの削減率〕	964.4 0.55	954.8 0.54	945.1 0.54	935.5 0.53	925.8 0.53	【201・601】:①.事務所から排出する一般廃棄物削減展開と分別。②.使用済みコピー用紙の裏面使用(社内メモ用紙、社内用コピーに使用)。③.産廃物の持ち込み、排出量を抑制する。	・再生資源化の利用と推進。コストの削減。
	【601】水戸RC:一般廃棄物排出量の削減kg 〔基準年度からの削減率〕	882.5 2.11	873.7 2.09	864.9 2.07	856.0 2.05	847.2 2.03		
	【202】本社:建設副産物の分別.回収徹底 〔基準年度からの削減率〕		会議開催 4回/年	会議開催 4回/年	会議開催 4回/年	会議開催 4回/年		
3.総排水量の削減	【301】本社:水使用量の削減(m³) 〔基準年度からの削減率〕	135.0 0.10	133.7 0.099	132.3 0.10	131.0 0.10	129.6 0.10	【301・701】:①.節水の表示。②.垂れ流しに注意、こまめにコックの開閉する。③.雨水タンク、貯蔵タンクを最大限利用する。(場内用散水に活用)	・水使用の効率の向上。 ・水の再生活用の促進。
	【701】水戸RC:水の使用量の削減(m³) 〔基準年度からの削減率〕	614.0 1.47	607.9 1.455	601.7 1.44	595.6 1.43	589.4 1.41		
4.紙電子マニヘスト活用の普及成果、発行枚数	【801】水戸RC:紙マニヘスト使用枚数 排出業者～受け入れ業者	12,877	—				①.搬入業者との電子マニヘスト導入を推進する。 ②.水戸RCにおいて最終処分地との電子マニヘスト導入。(企業同士は電子マニフェストで対応する)	・人件費の削減とスピード効率化。
	【802】水戸RC:電子マニヘスト使用枚数 排出業者～受け入れ業者	5,631	—					

IV-2.【環境目標、環境活動計画の取り組みに対する、実績と結果の評価】

令和7年度(2025年) 令和6年10月1日～令和7年9月30日
(完工高百万円、原単位ベース)

		代表	環境管理者	作成者				
		12月15日	12月12日	12月10日				
		小松崎	越渡	中島				
環境方針	内 容	環境目標		環境活動計画取り組み	実績と結果の評価			
		基準年度	令和7年度	令和6年、令和7年、令和8年、令和9年、令和10年(5年間)	今年度(R7年度)実績値			
		令和6年実績値 使用量原単位	1%削減 目標値(A)		実績値(B) 使用量原単位	平均達成率% 原単位達成率%	評価点 (原単位)	
1.地球温暖化防止のために二酸化炭素排出量削減	【101】本社:電気使用量の削減(kwh) 〔基準年度からの削減率〕	35,439.00 26.81	35,084.6 26.54	【101・501】①.冷暖房の控え目使用(暖房の室温26℃～28℃)(冷房は21℃～23℃)。②.休憩、昼休み時間の照明、エアコンはOFF。③.LED電球使用、未使用機器の未接続を徹底する。④.オフィスのOA機器を節電モードにする。	34,348.0	102.1	③	
	【501】水戸RC:電気使用量の削減(kwh) 〔基準年度からの削減率〕	216,837.00 96.51	214,668.6 95.54		23.8	111.7		
	【102】本社:ガソリン使用量の削減(L) 〔基準年度からの削減率〕	11,216.20 8.84	11,104.0 8.75		【102・501】①.エコドライブ運転の展開。②.ハイブリット車の購入。③.経済性を考慮した走行運転。④.運搬経路の計画、過積載の防止。⑤.アイドリングや急発進の抑制。	253,307.0	84.8	①
	【501】水戸RC:ガソリン使用量の削減(L) 〔基準年度からの削減率〕	216,837.00 96.51	214,668.6 95.54			731.90	70.2	
	【102.502】ハイブリット車の購入率%	50%	70%			①購入率	75%	クリア
	【103】本社:軽油使用量の削減(L) 〔基準年度からの削減率〕	233,637.00 176.73	231,300.6 174.96			【103・503】①.エコドライブ運転の展開。②.重機、車両のリースの際は省エネ使用車を選定する。③.運搬経路の設定。④.使用しない時の重機、車両はエンジンをオフにする。⑤.過積載の運行禁止。	14,074.73	78.89
	【502】水戸RC:ガソリン使用量の削減(L) 〔基準年度からの削減率〕	5,524.60 13.22	5,469.4 13.09		9.7		86.3	
	【503】水戸RC:軽油使用量の削減(L) 〔基準年度からの削減率〕	159,995.90 382.77	158,395.9 378.94		5,109.31		107.0	③
	【104】本社:二酸化炭素排出量の削減kg-CO2 〔基準年度からの削減率〕	619,184.20 468.37	612,992.4 463.69		【101～103】①～⑤)による。【501～503】①～④)による	14.8	89.0	
	【504】水戸RC:二酸化炭素排出量の削減kg-CO2 〔基準年度からの削減率〕	520,057.40 1,244.16	514,856.8 1231.72			212,546.21	108.8	③
【601】水戸RC:一般廃棄物排出量の削減kg 〔基準年度からの削減率〕	882.50 2.11	873.7 2.09	147.0	119.1				
2.廃棄物排出量の削減と資源の有効活用の推進	【201】本社:一般廃棄物排出量の削減(kg) 〔基準年度からの削減率〕	964.40 0.55	954.8 0.54	【201・601】①.事務所から排出する一般廃棄物削減の展開と分別(リサイクル・再使用と焼却)。②.使用済みコピー用紙の裏面使用(社内メモ用紙、また社内のコピー用紙として使用)。	153,790.68	102.9	③	
	【601】水戸RC:一般廃棄物排出量の削減kg 〔基準年度からの削減率〕	882.50 2.11	873.7 2.09		444.4	85.3		
	【202】本社:建設副産物の分別、回収徹底 〔基準年度からの削減率〕		会議開催 4回/年		597,159.63	106.97	③	
3.総排水量の削減	【301】本社:水使用量の削減(m³) 〔基準年度からの削減率〕	135.00 0.10	133.7 0.099	【301・701】①.節水の表示。②.垂れ流しに注意、こまめにコックの開閉する。③.雨水タンク、貯蔵タンクを最大限利用する。(場内用散水への使用方。)	412.9	1170.0		
	【701】水戸RC:水の使用量の削減(m³) 〔基準年度からの削減率〕	614.00 1.47	607.9 1.455		518,886.97	99.20	②	
	【801】水戸RC:紙マニヘスト使用枚数 排出業者～受け入れ業者	12,877	—		1499.24	0.8215		
4.紙電子マニヘスト活用の普及成果、発行枚数	【802】水戸RC:電子マニヘスト使用枚数 排出業者～受け入れ業者	5,631	—	搬入業者との電子マニヘスト導入を推進する。水戸RCにおいて最終処分地との電子マニヘスト導入。(企業同士は電子マニフェストで対応する)	944.0	101.10	③	
					0.7	110.6		
				859.3	101.700	③		
				2.5	84.17			
				221.0	60.48	①		
				0.2	66.16			
				850.0	0.7	①		
				2.5	59.21			
				13,354				
				3,919				

①.原単位ベースの達成率は完工高ベースとした。②.電力の二酸化炭素排出係数kg-CO2/kwhは、:0.434kg-CO2/kwh。

【評価】 ⑤:完璧に達成120%以上。④:十分に達成(110%～119%)。③:達成した(100%～110%)。②:改善の余地がある(90%～99%)。①:是正処置がある90%以下。

・令和7年度は、全項目を令和5年度の実数値を基準値とした。

V.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

・法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	備考
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(コンクリート、アスファルト・コンクリート、石こうボード等)	
建設リサイクル法	建築建造物及び土木建造物・工場プラント設備等の解体、撤去工事	
浄化槽法	浄化槽(水戸RC)	
消防法	灯油保管	
水質汚濁防止法 (遊水槽)	水質検査(水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、浮遊物質量、n-ヘキサン抽出物質含有量)	

※:環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

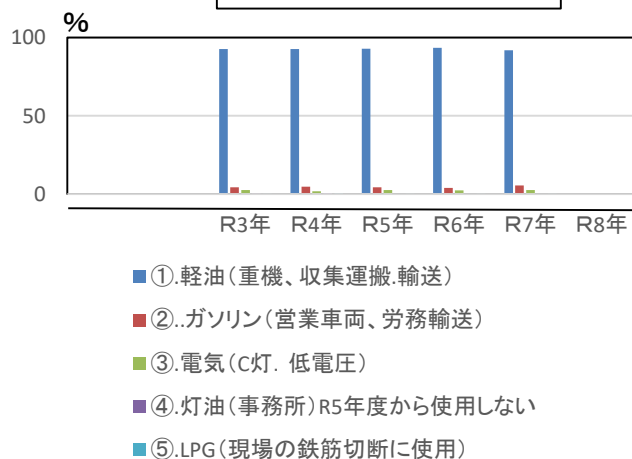
VI.代表者による全体の評価と見直し

・弊社は、今年で設立50年を迎えました。目標としてきました、解体工事の完工高増大はもとより、産業廃棄物処理工場を設立し再生砕石材料や再生固形燃料材料の生産高も向上し、また新社屋も完成しました。今後は『完工高20億円を目標とする』。弊社の今期の完工高は17億92百万円となりました。異常気候による災害や経済の資材高騰、景気変動により、四半前期の公共工事業の発注量が遅れ中期の発注傾向となり、民間企業の景気も横ばい傾向にあり、県内外の発注工事量が少ない傾向となりました。県内発注工事の他・民間工事の福島県、東京都、神奈川県等の工事受注をして参りました。また5月から異常気温により猛暑が続き、工事の進捗率にも影響がでて作業員の健康管理を第一に掲げて施工してきました。今年の解体工事は、14億46百万円で工事箇所も広範囲となり化石燃料等の消費量も増えましたが、全体では二酸化炭素排出量も前年度並みになりました。また水戸リサイクルセンターの産廃処理工場においては、売上げ高は3億46百万円となり、再生砕石材は前年度より15%減なり、再生固形燃料材の生産は前年度より204%増となる、生産量の向上により電気及び水道量の使用消費量は前年を28.5%増加しましたが、ガソリン消費量は前年より削減しまた軽油消費量も削減した。今後の二酸化炭素排出量を削減する為には、各工事現場、工場において稼働時間を有効に運営することが化石燃量消費削減につながると共に少なからず利益の向上になる。又従業員の増員と世代交代を図りながら技術の研修、免許取得等を行い従業員の定着を注視しながら利益と産廃の3Rを継承し環境経済活動を継続し、人と自然が共生する豊かな自然環境を守る為、二酸化炭素排出量削減に努めて参ります。

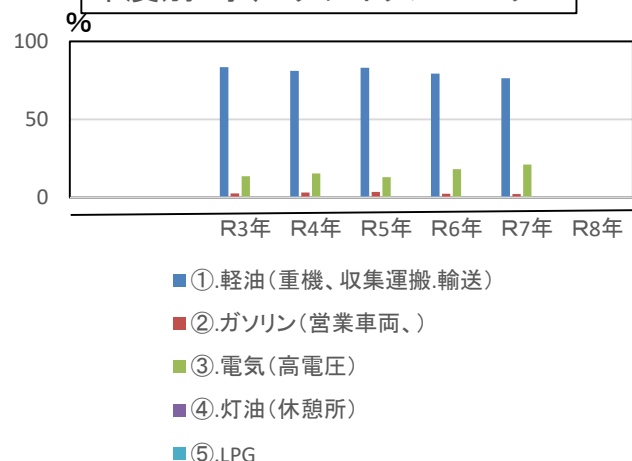
本社と水戸リサイクルセンター二酸化炭素排出量年度割合

項目	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年
①.軽油(重機、収集運搬、輸送)	92.7	92.7	92.9	93.4	91.8		
②.ガソリン(営業車両、労務輸送)	4.3	4.7	4.3	4.0	5.5		
③.電気(C灯、低電圧)	2.5	1.7	2.6	2.4	2.5		
④.灯油(事務所) R5年度から使用しない	0.4	0.6	0	0	0		
⑤.LPG(現場の鉄筋切断に使用)	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2		
合計	100	100	100	100	100	0	0
①.軽油(重機、収集運搬、輸送)	83.5	81.2	83.2	79.4	76.5		
②.ガソリン(営業車両、)	2.7	3.3	3.6	2.5	2.3		
③.電気(高電圧)	13.7	15.4	13.1	18.1	21.2		
④.灯油(休憩所)	0.1	0.1	0.1	0	0		
⑤.LPG	0	0	0	0	0		
合計	100	100	100	100	100	0	0

年度別・本社、工事部



年度別・水戸リサイクルセンター

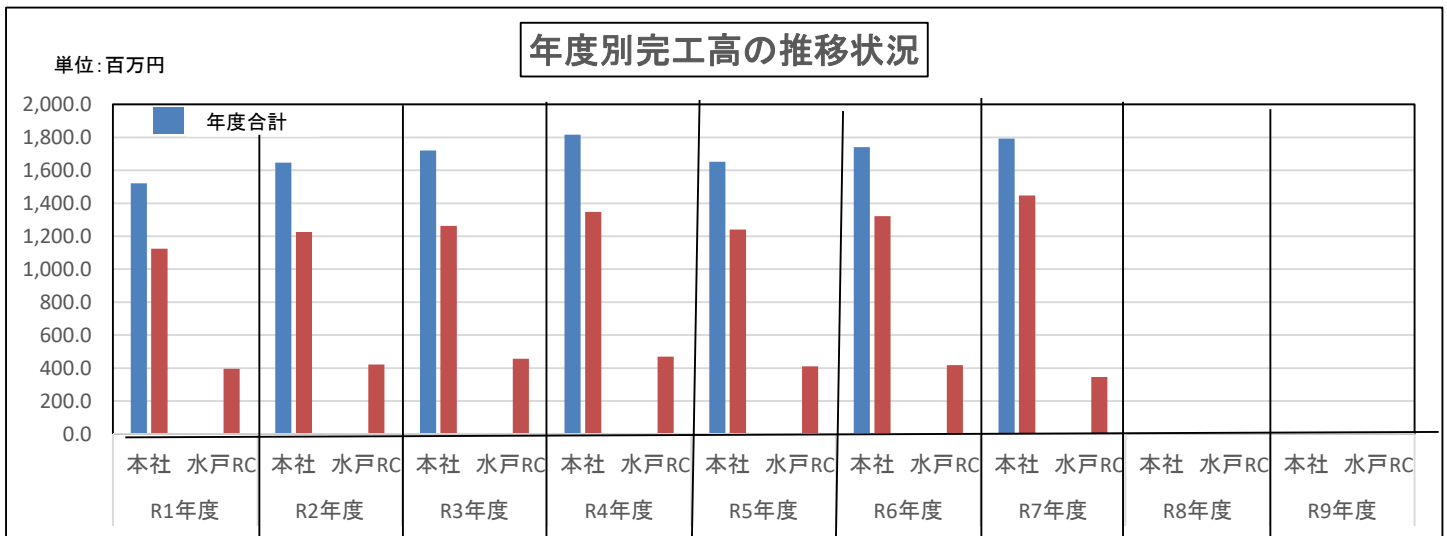


「工事件数、工事完工高」の増減により、重機、車両、工場の電気使用量・軽油使用量は比例増減する。

参照2 :7年間の『完工高推移』 (本社+水戸RC)

単位:百万円

	R1年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度	
	本社	水戸RC	本社	水戸RC	本社	水戸RC	本社	水戸RC	本社	水戸RC	本社	水戸RC	本社	水戸RC	本社	水戸RC	本社	水戸RC
10月	39.2	37.6	97.0	39.0	29.5	36.8	7.8	54.4	50.0	34.8	146.0	38.0	20.3	45.2				
11月	43.5	33.2	123.0	38.0	39.4	41.5	32.2	46.1	35.9	31.8	86.0	47.0	118.9	28.1				
12月	35.1	30.8	79.0	37.0	177.3	39.4	149.5	50.7	34.5	28.3	72.0	31.0	95.4	34.8				
1月	42.5	27.1	127.0	43.0	55.9	43.3	34.6	41.9	154.7	34.1	112.0	23.0	92.4	23.2				
2月	43.9	30.1	162.0	35.0	169.1	44.0	65.7	45.8	114.5	37.1	54.0	35.0	80.2	27.2				
3月	232	26.1	151.0	33.0	145.6	45.6	596.9	41.8	175.2	40.3	142.0	45.0	301.8	34.9				
4月	182.5	35.6	107.0	32.0	32.9	25.7	63.3	32.3	223.2	31.8	154.0	30.0	97.6	29.3				
5月	75.3	33.6	34.0	33.0	46	30.5	66.0	32.6	44.7	28.8	122.0	32.0	17.2	26.4				
6月	118	32.8	101.0	36.0	79.1	34.0	111.4	30.6	96.8	53.3	92.0	37.0	122.8	26.5				
7月	79.1	37.3	21.0	37.0	69	38.4	23.7	31.5	109.0	35.3	121.0	46.0	72.8	29.3				
8月	70.2	29.3	15.0	26.0	81.5	37.0	51.0	26.1	77.0	35.3	22.0	24.0	76.0	23.0				
9月	163.1	42.5	208.0	32.0	337.7	41.0	144.6	35.0	124.4	20.2	199.0	30.0	350.8	18.2				
合計	1,520.4		1,646.0		1,720.2		1,815.5		1,651.0		1,740.0		1,792.3		0.0		0.0	
小計	1,124.4	396.0	1,225.0	421.0	1,263.0	457.2	1,346.7	468.8	1,239.9	411.1	1,322.0	418.0	1,446.2	346.1	0.0	0.0	0.0	0.0
伸び率	0%(基準)		108.3%		104.5%		110.3%		100.3%		105.7%		108.9%		0.0%		0.0%	



参照3: 収集運搬(受託依頼)の推移 (注: 本社は自社工事の産廃排出数量は含まない。)

単位=t 水戸リサイクルセンターは、自社の車両での搬入のみ、顧客搬入車両での数値は含まない。

	項目	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年
本社	収集運搬数量	12,637.780	9,001.762	15,269.500	8,517.490	11,760.591	4,533.670		
	収集運搬数量	10,996.100	8,047.700	7,338.800	5,858.569	6,833.290	5,920.050		
水戸RC	外注受入れ数量	34,255.200	25,088.600	34,190.000	30,808.530	24,403.630	28,161.746		
	中間処理数量	45,251.30	33,136.30	41,528.80	36,667.10	31,236.92	34,081.80	0.00	0.00
	基準年度	100%	72.1%	95.7%	60.8%	78.7%	44.2%		

※: 中間処理数量(水戸RC自社収集運搬数量+外注受け入れ数量)

